

令和3年6月18日

学校規模適正化調査特別委員会

阿久根市議会

1 会議名 学校規模適正化調査特別委員会

2 日時 令和3年6月18日（金）

午前11時22分開会

午前11時43分閉会

3 場所 議場

4 出席委員

濱田洋一委員長、濱崎國治副委員長、竹之内和満委員、
川上洋一委員、濱門明典委員、白石純一委員、
竹原信一委員、仮屋園一徳委員、中面幸人委員、
牟田学委員、岩崎健二委員、木下孝行委員、
濱之上大成委員、山田勝委員

5 事務局職員 次長兼議事係長 上脇重樹、議事係主任 松崎正幸

6 会議に付した事件

本市の小・中学校における適切な規模に関する調査について

7 議事の経過概要 別紙のとおり

審査の経過概要

○ 本市の小・中学校における適切な規模に関する調査について

濱田洋一委員長

ただいまから学校規模適正化調査特別委員会を開会いたします。

さきの3月12日に開催されました本委員会におきまして、教育委員に出席を求め、意見を伺うことについて決定いただきました。

このことにつきましては、後ほど協議していただく予定でありますので、そのときにこれまでの経過についても報告いたします。

まずは、今後の審査方法について、皆様方に御協議をお願いいたします。

まず、6月4日に開催された全員協議会において、当初の基本方針からの修正点などについて教育長から説明がありました「第2次阿久根市学校規模適正化基本方針」に関して、所管課に出席を求め、質疑を行う必要があるかについて、御意見をお伺いします。

御意見ございませんか。

中面幸人委員

一般質問等で相当審査したと思うので、必要ないと思いますが、皆さんどうでしょうかね。

山田勝委員

やはり教育委員会事務局に出席をいただいて説明を聞いて、そして、例えば阿久根小学校についていろいろ問題があるんだったら確認をしなければいけない、現地調査もしなければいけないですよ。それは、阿久根小学校だけでなくどこも同じです。そこまでちゃんと最初でしておけば教育委員と話す必要も何もない。あなた方が一般質問をする必要もなかったんですよ。だからまずは事務局の説明を聞いて、そして現地調査をする、それからでないとも語ることはないと思います。

白石純一委員

私も特別委員会を開催すべきだと思います。今回の修正は、手段についてはいろいろあったわけですが、本質の統廃合ということは全く変わっていないわけで。また、前回の特別委員会では、ほとんど執行部はその場で答えられなかったということもあります。

あと、これは私の提案なんですが、教育長をお呼びしてということができればお願いします。

木下孝行委員

私もこの統廃合問題については、一般質問でも6名の方が学校問題を取り上げて質問をしたということで、まだまだ議論をすべきだと思っておりますので、教育委員会への質疑、学校等の視察、関係者との意見交換も、必要なときもあるんじゃないかと思います。「令和6年4月を目途に」という教育長の話でございますけれども、それにこだわる必要はまだないと私は思っておりますので、議論もまだまだしていくべきだと思います。

牟田学委員

今それぞれ意見がありましたけれども、私もやはり阿久根小学校を使用するというのであれば、教育総務課などと呼んで、校舎はどこを使うのか、使わないのはどこか、耐震関係

もあるので、現地を見て、まだ議論したほうがいいと思います。

山田勝委員

私は、昨日は教育長が「フリースクールについても阿久根小学校に計画している」みたいな話をされました。私たちが知らないところでいろんなことが計画されていて、それが唐突に出てくる。だからこういうときに教育委員会の事務局の意見を聞いて、それに基づいて教育長は呼ぶということでない。まず、実態をよく分からんことには始まらないと思います。例えば、阿久根小学校をどうするかというのは教育委員会というよりむしろ阿久根市全体の大きな問題ですよ。だから、そういうところまで含めて、まずは教育委員会の事務局を呼んで、実態を把握する。そして現地調査をするというのが大事だと思います。

濱田洋一委員長

ただいま委員の皆様方から御意見をいただきました。その中では、所管課に出席を求め、第2次基本計画等に係る質疑等を行いたいとの御意見が多数であると思いますので、まずは、所管課に出席を求めて意見交換会を行うことに御異議ございませんか。

山田勝委員

所管課を呼ぶのはいいですよ。でも、あなたは、今、第2次の修正点についてと言ったが、第2次修正点はこれしかないんだから、全体をやらないといけませんよ。

濱田洋一委員長

山田委員、私は先ほど、今回修正が出ました第2次基本計画等に関することについてと言いました。当初からの基本計画、そして第2次も総合的に含めて意見交換会を所管課と行うようにしたいと思います。それでよろしいですか。

山田勝委員

けちをつけるけどね、所管課と意見交換をする必要はないですよ。質疑をすればいい話ですから。何で所管課と意見交換をしないといけないのよ。

濱田洋一委員長

分かりました。意見交換というのを質疑ということでさせていただければと思います。

そして、先ほどほかの委員から教育長の出席を求めるということでありましたが、まずは、所管課に出席をいただいて質疑を行う。その後、必要であれば教育長も出席をいただくということでよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

ただいま決定いただきました所管課への質疑等につきましては、本日は、本委員会の後、当初から予定されております常任委員会が開催されますので、所管課に出席を求めての委員会につきましては、日を改めて開催いたします。開催日時につきましては、常任委員会が本日で閉会した場合は、来週月曜日、6月21日午前10時から、または、常任委員会が6月21日にわたる場合は、同日の常任委員会が終了した後と考えておりますが、そのように決定してよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認め、そのように決定しました。

次に、先ほど委員の方々から学校施設の現地調査も行いたいということがありましたが、そのことにつきましては、後ほど確認させていただきますのでよろしくお願いいたします。

次に、教育委員に出席を求め、意見を伺うことにつきまして、協議を行いたいと思います。

さきの委員会におきまして、委員長に一任いただいております教育委員に出席を求める

件については、教育委員会と日程調整を行い、当初、5月19日に開催する予定でありましたが、教育委員の方々の御都合により延期し、再度、日程調整を行っているところであります。

そのような中、先ほども申し上げましたとおり第2次阿久根市学校規模適正化基本方針が出されました。

したがいまして、先ほど委員からありましたけれども、改めて、教育委員に出席を求めることについて、御意見をお伺いいたします。

山田勝委員

私は、教育委員と話をする必要はないと思います。教育委員と話をして意見は出てきませんよ。それよりも事務局と詰めることです。それと委員長、あなたに一つ言っておくけれど、教育委員会の職員と議員は同格じゃないんだから、意見交換なんて考える必要も何もないんですよ。議員は市民に代わって質疑をする、正したり確認したりする責任があるし資格があるんだから、委員会と同等じゃないんですよ。皆さん方が偉いんです。

濱田洋一委員長

山田委員、私が今、話をしたのは教育委員の4名の方々がいらっしゃる。

〔山田勝委員「だから必要はないって」と呼ぶ〕

濱田洋一委員長

必要ないということですか。

〔山田委員うなづく〕

仮屋園一徳委員

私も教育委員に質疑をする必要はないと思います。

木下孝行委員

私も一緒です。現状では必要ないと思います。

濱田洋一委員長

ほかの委員の方々も教育委員との質疑は行わないということによろしいですか。

白石純一委員

市政全般にわたるチェック機能が議会だとすれば、教育行政に係るチェックをされるのが教育委員会の委員だと思います。したがって、私は、対等な立場で議員と教育委員と意見交換を行うことは有益ではないかと思っております。

牟田学委員

教育委員とは別にしなくていいと私も思っております。

山田勝委員

教育委員会というのは執行部なんですよ。教育長を含める執行部。教育委員も執行部なんですよ。

濱之上大成委員

これまでの状況の中で、協議会の皆さんと語ると言っていた中で、教育長のほうから何か圧力を感じるような文書が来たじゃないですか。だから流れとして教育委員とはできないのかと言っただけであって、執行部の教育委員会所管課とやるのであれば、教育委員というよりも、今はとことん現地視察をしたり、執行部と議論するだけでいいんじゃないですか。

竹之内和満委員

私は、一回決めたことでもありますから、したほうがいいかなと思います。教育委員は責任を持っていような委員会の中で意見を述べているはずですので、全く教育長からの意見で

染まっているわけではないと思いますので、ぜひ、個々の意見を聞きたいと思っております。

濱田洋一委員長

それではただいま、教育委員との意見交換及び質疑を行いたいと言われる委員、そして、必要ないのではないかとという多数の委員の御意見でありました。

そうした中で、先ほど決定させていただきました所管課への質疑を開催し、また必要であれば教育委員とも開催するということも可能ではなかろうかと思いますが、多数の方々が現在、教育委員との意見交換は必要ないということであられますので、今日の会におきましては教育委員との意見交換はとりあえずやらない。また状況を見て、開催するべきときには開催するということによろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

それでは御異議なしと認め、教育委員に出席を求めないことに決しました。

続きまして、ただいま決定していただいた審査以外の審査方法などについて、御意見を伺います。

白石純一委員

各地区の方々、あるいは未就学児の保護者を含んだ保護者といった市民の方々との議員と語る会も、コロナの状況次第ですが検討してよいのではないかと思います。

竹原信一委員

今の御意見も、住民との話も、排除するべきではないと思いますけれども、まずは先ほどの流れで議論して、必要であればという形にしておけばいいんじゃないんでしょうか。

濱田洋一委員長

先ほど複数の方から現地調査も行いたいという話もございました。そのことにつきまして今後の審査状況により決定していくということによろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

また、学校施設となりますと児童生徒がいるときには、ちょっと難しいかなと思いますので、そのときは夏休みであるとか、長期期間を使って現地を確認するということになろうかと思いますが、その旨御了承いただきたいと思います。

また、保護者の方、そして未就学児の保護者の方々との意見交換会もすべきでないかという御意見もありました。このことにつきましても、現在、コロナ禍ということでなかなか多くの方が集まってのイベント等が自粛もしくは中止されていることを踏まえまして、今後この会で諮ってまいりますので、必要であれば行うということにしたいと思いますが、それによろしいでしょうか。

白石純一委員

現地視察については、阿久根小学校の建物の状況等を確認するだけではなくて、本質的に「複式学級がよくないのか」とか、そういうことが本来の課題でございますので、例えば授業参観のような形で複式学級のクラスの授業を参観すると、それは子供たちは保護者や先生たちによる参観にも慣れているわけですから、その辺りも検討していくべきではないかなと思います。

木下孝行委員

学校の視察に関しては、阿久根小学校だけじゃなくて、今後、当分の間、統廃合ができないと考えたときには、他の学校がどういった状況にあるかということのも再確認しなければならないと思うし、それに合わせて、もし地域、PTAの方たちの都合が合えば、我々の学校視

察と同時にその人たちと意見交換が出来るのであれば、そういった形が一番いいんじゃないかなと思いますので提案させていただきます。

〔「お願いします」と呼ぶ者あり〕

濱田洋一委員長

ただいま、各委員の皆様方から学校視察または授業参観等、それからいろんな御意見等伺う機会を設けてほしいとのお話がありました。それにつきましては、状況を見ながら進めていきたいと思いますので、また改めまして、当委員会の中で進め方につきまして決定させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

以上で、本日の学校規模適正化調査特別委員会を閉会します。

(散会 午前11時43分)

学校規模適正化調査特別委員会委員長 濱 田 洋 一